

このような家畜・動物生産には育種技術の改良とともに繁殖(生殖)技術の開発と利用が必要だった

育種改良によって、同種間に様々な「品種」が生まれた。

ウシ: ホルスタイン、和牛、ジャージー

ウマ: サラブレッド、アラブ、

ブタ: ヨークシャー、パークシャー、デュロック

イヌ: コリー、ブルドック、スピッツ、セントバーナードなど

## 家畜の品種

家畜を改良し、増殖するには長い年月が必要である vs. テクノロジーの活用

何世代にもわたり、家畜は改良され、頭数も増えた

ウシ: 13億4000万頭

ブタ: 9億2000万頭

ヒツジ: 10億7000万頭

ヤギ: 7億1000万頭

ヒト: 69億人(2010年10月)

品種(breed)

同一の種に属するが、他と識別できる遺伝的特徴をもつ集団

地理的隔離により一定の遺伝的特徴をもつ集団に対し、さらに人為的な生殖隔離、

主として品種改良が行われた結果

家畜の品種の多くは18~19世紀までに成立している

品種において近親交配を重ねると系統(strain、ウマで重要)が形成される

サラブレッドは究極に育種改良された「走るためのウマ」

サラブレッドの場合、なぜ、「本交」のみの繁殖なのか？